

令和7年度 第2回幕別町学校給食センター運営委員会 会議録

1 日 時 令和7年9月22日（月）午後3時00分～3時50分

2 場 所 幕別町役場2階AB会議室

3 出席委員（11名）

学校代表委員	佐 竹 宏 子
〃	出 村 聖
〃	武 田 由 子
〃	谷 口 早 苗
父母代表委員	阿 部 美由紀
〃	松 岡 玲 子
〃	坂 口 雄 次
〃	豊 田 千 恵
公募委員	小笠原 保
〃	高 橋 恭 子
〃	吉 仲 希和子
〃	大 石 政 代
〃	吉 田 隆 一

4 欠席委員

大 浦 希 帆
朝 倉 陽 平

5 日 程 学校給食の現状について

- (1) 年度別給食提供数について
- (2) 学校給食費の状況について
- (3) 食材の単価状況について
- (4) 管内市町村給食費の状況について

6 事務局出席者

幕別町教育委員会教育部長	石 田 晋 一
学校給食センター所長	守 屋 敦 史
〃 業務係長	合 田 利 信

7 議 事 録

(委 員 長) みなさん、こんにちは。時節柄、何かとお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。

ただ今より、令和7年度第2回幕別町学校給食センター運営委員会を開催いたします。

それでは、早速ですが会議に入りたいと思いますが、本日、大浦委員、朝倉委員の2名から欠席の報告を受けておりますので、ご報告いたします。

それでは、本日の会議次第は、「学校給食費の現状について」であります。

1番目の「年度別給食提供数について」から、4番目の「管内市町村給食費の状況について」までを一括して、事務局から説明をお願いします。

(所 長) それでは、「学校給食費の現状について」説明させていただきます。

内容につきましては、1番目の「年度別給食提供数について」から4番目の「管内市町村給食費の状況について」まで一括して説明いたしますが、第1回会議と重複する説明もありますので、ご容赦いただきたいと思います。

1ページをお開きください。

1番目の「年度別給食提供数の状況について」、説明いたします。

最初に①「給食提供数の推移（年度当初）」の人数になりますが、幕別学校給食センターと忠類学校給食センターについて、現行給食費となりました令和3年度から本年度（令和7年度）までの5年分の年度当初の1日当たりの給食提供数を記載しております。

令和3年度と本年度（令和7年度）人数の比較では、幕別学校給食センターでは、令和3年度が2,467人、本年度が2,270人で、197人が減少しており、忠類学校給食センターでは、令和3年度が197人、本年度が157人で、40人が減少している状況にあります。

次に②「年間給食提供数の推移」（実績）になりますが、こちらは幕別学校給食センターと忠類学校給食センターの令和3年度から令和6年度までの4年間の実食数を記載しております。

幕別学校給食センターでは、令和3年度の食数が458,258食で、令和6年度が436,278食と約22,000食の減少となっており、忠類学校給食センターでは、令和3年度の食数が39,896食で、令和6年度が34,541食で約5,400食の減少となっております。

2ページをお開きください。

2番目の「学校給食費の状況について」、説明いたします。

最初に①「年度別学校給食費の収納状況」ですが、こちらも現行給食費となりました令和3年度から令和6年度までの4年間における収納状況を記載しております。

直近の令和6年度の収納状況につきましては、各年度の現年度分の収納率を比較しますと、増減はありますが、ほぼ横ばいではあり、令和6年度については、やや低下している状況にあります。

今後においても、未納者に対しては、継続的に督促を行いながら、徴収業務を進めていきたいと考えております。

次に②「年度別学校給食費の収支状況」ですが、令和3年度から本年度の

令和7年7月末現在における各年度の収支状況を記載しております。

こちらでも前回の運営委員会会議で直近の情報を説明させていただいておりましたが、令和3年度と令和4年度につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る出席停止分については、給食費を徴収していない影響もあり、赤字額、⑥の表の網掛け部分になりますが、特に令和4年度については、600万円超と赤字額が大きくなりました。

その後も物価高騰の影響がある中ではありますが、献立や食材の選定の工夫により、令和5年度については、40万円弱の赤字に抑えることができましたが、令和6年度については、約320万円の赤字、そして、今年度については、4月から7月末の4カ月間ですでに約300万円の赤字となっている状況であります。

後ほど説明いたしますが、牛乳や主食である米やパン、麺類などについても軒並み値上げされており、その分、汁物やおかずやデザートである副食に係る経費を削らざるをえない状況で、献立を作成しているのが実態となっております。

3ページをご覧ください。

③「給食費（保護者負担額）の改定状況」ですが、直近の改定を令和3年4月に実施しており、物価高騰の理由によるものですが、この際は、1食当たりの給食材料費、表の下段のカッコ書きになりますが、令和3年4月と平成26年4月改定分を比較しますと、小学校が242円から263円、中学校が284円から292円といずれも21円を引き上げており、保護者負担額については、値上げ分の21円の3分の2の14円が町負担、残りの3分の1の7円を値上げ分として保護者に負担いただくことし、小学生が234円から241円に、中学生が284円から291円に改定をしております。なお、町の支援額としては、先ほど説明した14円の値上げ分と平成26年度から地場産材料費として負担している8円を含め、現在は1食当たり22円を町が支援をしている状況であります。

4ページをお開きください。

3番目の「食材の単価状況について」説明いたします。

①給食材料費の推移になりますが、現行給食費となりました令和3年度から本年度、令和7年度まで、年度別に品目ごとの単価を記載しております。

今回は、幕別学校給食センターにおける各品目の単価を抜粋して記載しておりますが、4ページには「牛乳及び各種主食」の単価を、5ページには「副食の主なもの」について、それぞれ小学校・中学校別に記載しております。

はじめに「牛乳」については、令和3年度と令和7年度の価格を比較した場合、上昇額が11.70円、率にして24.02%上昇している状況にあります。

同様に主食については、小学校では米飯が1食当たり75gで令和3年度が25.43円、令和7年度が39.77円で14.34円の値上げで、こちらには記載しておりませんが、10kgの場合で比較すると、令和3年度が3,391円、令和7年度が5,303円で1,912円の値上がりとなり市販と比較すると安価ではありますが、1.5倍を超える上昇率となっています。

また、茹ラーメン200gは令和3年度が77.76円、令和7年度が102.60円で24.84円、そのほかうどん200gで27円、基準パンでは12.45円などと全ての品目で大幅に上昇している状況にあり、中学校でも同様の状況となっております。

5 ページをお開きください。

こちらには、おかずの食材など、副食の主なものについて、記載をしておりますが、野菜の単価につきましては、それぞれその年における 1 kg あたりの平均単価、本年度、令和 7 年度分については、4 月から 7 月までの平均単価を記載しております。

こちらもすべての野菜が値上げしており、特に人参やキャベツ、白菜については、7 割以上の上昇率となっております。

なお、こちらに記載しておりませんが、じゃがいもについては、農協と協定を結び、毎年安定的に供給していただいていることから、価格についても令和 3 年度から 10 円の値上げにおさめていただいている状況にあります。

また、同様に肉類や豆腐類、缶詰や調味料についてもすべての品目で値上げとなっており、こんにゃくやしょうゆなど一部の品目を除き、3 割から 6 割程度上昇している状況にあります。

6 ページをお開きください。

「4 管内市町村給食費の状況について」を説明いたします。

最初に①「十勝管内自治体の小・中学校の給食費および無償化の実施状況（本年 4 月現在）」についてであります。こちらについては、十勝管内 19 市町村の給食費について、保護者負担額と 1 食あたりの給食材料費として規定している金額を小中学校別に記載しておりますが、一番左側の小学校（保護者負担額）とありますが、こちらの金額の高い順番に並べて記載しております。

小学校の保護者負担額では、帯広市が 1 食あたり 262 円で 1 位、2 位が新得町で 251 円、3 位が 241 円で幕別町となっており、以下 12 位までの記載と、その下の網掛け部分は、無償化としている 7 町村の状況となっております。

また、そのとなりの欄になりますが、小学校（給食材料費）とありますが、1 食あたりの給食材料費として規定している金額については、無償化となっている更別村と陸別町が同額の 300 円で 1 位、3 位が大樹町の 297 円となっており、幕別町においては 14 位の 263 円と管内では低い方の水準となっておりますが、以下ご覧の順位となっております。

また、右側の備考欄になりますが、こちらには、各町の公費の負担額を記載しておりますが、幕別町については、先ほども説明をいたしましたが、22 円が町負担額となっております。

なお、無償化については、管内 7 町村で実施しており、また、公費負担についても大小ありますが、各市町村で実施しております。ただし、無償化や公費負担の実施にあたっては、児童生徒数が多い自治体ほど当然のように負担が大きくなります。

十勝管内で無償化を実施している自治体については、いずれも児童生徒数が 500 人以下の町村となっております。幕別町においては、約 2,000 人の児童生徒が在籍しており、無償化の実施には 1 億円を超える多額の費用を要すること、また、自治体の財政力の違いによる格差が生じないように国の責任で進めるべきと考えていることから、町独自の無償化を実施する考えはないとしており、現在国において小学校の無償化を含む教育無償化について、検討が進められていることから、こうした動向を注視していきたいと考えています。

最後に 7 ページになります。

②「十勝管内市町村の学校給食費改定状況（令和 3 年度以降）」ということで、こちらには、令和 3 年度に幕別町で改定した以降、令和 7 年度までの管内の改定状況を年度別に記載しております。

令和 4 年度については、中札内村、令和 5 年度については、士幌町など 5 町で、令和 6 年度については、更別村など 3 市町村、本年度の令和 7 年度については、陸別町など 5 町がそれぞれ改定を実施している状況であります。

大樹町と音更町は令和 5 年度に改定後、令和 7 年度にも改定を実施しておりますが、数年来続いている物価高騰の影響により、いずれの市町村においても、厳しい給食事業の運営が見受けられる実態となっております。

最後になりますが、学校給食につきましては、給食費の保護者負担額において、給食材料の支出額を賄うことが前提とされておりますが、本町におきましては前回の給食費改定後も物価高騰に歯止めがからず、数年来、赤字が続いている状況にあります。

つきましては、今後の「学校給食費についての在り方」について、協議が必要な時期と考えているところでありますので、委員皆様からのご意見をいただきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

以上で説明を終わらせていただきます。

（委員長） ただいま、「学校給食費の現状について」、1 番目の「年度別給食提供数について」から、4 番目の「管内市町村給食費の状況について」まで、説明が終わりました。

本日は給食費について、委員の皆様から多くのご意見をいただき、議論をしまいたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

最初に全体を通してご意見、ご質問をお願いします。

（委員） 今、説明をいただいて、数字の面では見えていなかったものが見えてきたと感じています。改めて説明を聞いて、これだけ上がっているというのが実感できて、保護者側の方からは、こういった上昇率を提示していただけるのは、とても有効な資料だと思います。

前に意見があったように、栄養士の方が、こういった面で苦勞されているのかということなど、今後、回数を重ねると思いますので、話を聞けたらと思います。

（所長） 貴重なご意見ありがとうございます。前回会議でも、栄養教諭の出席という話もありましたが、次回以降、具体的な数字等も出てきますので、またその際に出席するようなことで進めていきます。

（委員） 前から感じていたことですが、2 年前、子どもが 5 年生の時、レクリエーションに参加して、給食を食べた時に、ちょっと量が少ないかなと感じました。ただ、おかわりをする子もたくさんいるので、ある程度バランスも取れているのかと思います。

今、2 割、3 割と物価が上がっている状況の中で、この資料を見る限り、給食費の現状が合っていないと感じました。むしろ、物価高プラス、もう 1 品増やすと、非常に負担が増えて難しいかなと思いますが、1 品増やしても良いと感じました。

- (所 長) 日によっては、おかずの大きさや見た目が小さいなど、日々比べると量の差が見える部分もあるかもしれませんが、基本的に給食は、きちんと栄養価を計算し、提供しております。今、いただいた意見については、今後、献立を作る上で、栄養教諭と協議、相談させていただきたいと思います。
- (委 員) 前回の会議の資料になりますが、残食の割合が 11%というのは、休んだ子どもの分が除かれているのか、それとも含まれているのでしょうか。
- (所 長) 残食につきましては、こちらからの提供量に対して、返ってきた量になりますので、休んでいる子がいて、その分のお代わりをしていなければ、そっくり返ってくることになります。残食量については、栄養教諭が、どの献立によって多いのか、少ないのかということを気にしながら、献立を立てておりますので、今後もそういったことは検討してまいりたいと思います。
- (委 員) 物価高でそれぞれの食材が凄い値上がりをしている中で、栄養教諭は本当に日々苦勞されています。うちの学校に栄養教諭がいて、栄養価が高くて、安いものを使っているという苦勞話を毎日のように聞いています。
この表を見ても、本当に凄いこんなに上がっているということを改めて感じて、これだと給食費を上げざるを得ない、仕方がないと思いました。
- (委 員) 現状について、いろいろ理解できました。ありがとうございました。
2 点ほどお聞きします。物価上昇というのは、全体の流れとしては理解しています。ただ、野菜に関しては、物価の上昇というよりも、相場ものなので、高い時期、あるいは、比較的そうでない時期、年もあるのが現状で、そして大体、上昇傾向にあるのかかもしれません。その中で、その原料の調達に関しては、町内 3 者による見積合わせを行っているという記憶しています。この野菜の調達価格と実際の相場が、かけ離れているというか、かなり高めの設定で、これにはいろんな理由があると思いますが、そういう調達基準、調達方法を抜本的に見直すような検討はされないのでしょうか。
また、牛乳については、学校給食に必要なだとは思いますが、毎日、必要なのか、牛乳に代わるもので安くて、子どもたちが喜ぶようなものはないのでしょうか。
- (所 長) 1 番目の野菜の調達方法については、委員おっしゃる通り、見積合わせを町で毎月実施し、基準に基づき、現在、3 者以上で行っており、その他の副食等も、見積合わせを実施しております。野菜については、町内業者で実施しており、このような現状になっています。やはり、実際、現場にいらっしやると少し高いのではないかという話ではありますが、今後、どのような方法があるのか研究を進めてまいりたいと考えております。
2 番目の牛乳については、栄養バランスを取るには、一番、牛乳が良いということもありますが、学校給食法施行規則で、完全給食の構成にミルクが入っており、幕別町でも完全給食を提供していることになります。
ただ、毎日、ミルクっていうわけではもちろんありませんので、日数は少ないですが、ミルク以外のものを出していることもあります。今現在では栄養バランス、牛乳の値段のこともり、一定数は必要と考えています。

(委員) 私は野菜以外の食材の単価については、知識はありませんが、野菜については、相場からすると、ちょっと高目だと思います。町内業者が見積合わせをする段階において、相場ものですから、その相場の上昇リスクが当然あると思います。

例えば、白菜を何百キロか納品する価格を見積もりしたけれど、ちょっと合わない単価になってしまったといったときに、白菜の代わりに何か別な物で代替できないかどうかというような柔軟な献立の変更とかは、2、3日前では、難しいでしょうけど、ある一定の期間前だったら、多少の変更は、許されますよとか、なんかそういう少しメニューの、柔軟性があれば、リスク転嫁分は抑えられるのかなと思います。メニューの柔軟性とか、給食センター側の対応で、もう少し単価を抑えることが出来ないのでしょうか。

牛乳については、学校給食法の中で、どの程度、代替えが許されるのか分かりませんが、メニューに合っていない時もありますよね。僕も子どもの頃は、毎日、牛乳だったという記憶がありますが、牛乳は万能食品、飲料で栄養価満点というふうになんてずっと育ってききましたが、今は、そういう感覚はちょっと変わってきているかと思います。牛乳が全てではない、逆に牛乳を飲んで体調に合わないという子も増えている。牛乳は必要だと思いますが、牛乳の回数を減らすという検討できないのかなというのが僕の考えです。

(所長) 見積合わせの単価について、そういう価格にも見えるということではありますが、町として、見積合わせを実施していますので、この価格が適正とあると考えております。先ほど、言ったとおり、見積合わせのあり方、根本的なものについては、改めて、研究をしたいと考えております。

牛乳については、牛乳アレルギーの子に対して、緑茶、麦茶、豆乳等を出していますが、牛乳よりは全て単価が高くなっている状況で、金額だけの面ではありませんが、今現在、牛乳の回数を減らして、他のものを増やすという考えはありません。

(委員) 2、3点、お聞きたしたいと思います。給食の改定が、アップの方向で進んでいると思いますが、元々、地場産品に対する町の負担8円から、今、支援金22円という数字で運営されていると思います。今回の給食費の改正のときに、この22円の額の検討に入っていくのかっていうのが1点。それと、来年度、子どもの数が91名減るはずですが、食数が少なくなったときに、割高感というものを、給食費を設定するときに、検討されていくのかということを知りたい。もう1点は、米は北海道学校給食会、パンは林製パン、麺は鉋路と広尾だったと思いますが、今も変わりはないですか。

(所長) 1番目の町の支援額の関係ではありますが、おっしゃる通り、平成26年から地場産品の支援として8円を、前回の改定で支援額14円プラスしまして、現在22円となっております。

本日の会議で、給食費の値上げが必要ということになり、教育委員会で給食費の改定が必要と判断した場合は、再度、3回目以降の会議を招集させていただきます。その中で、金額を検討していただくこととなりますが、最後に金額案を運営委員会から教育委員会に答申していただきます。その後、町で金額が適正かどうか、更に値上げに対する支援額については、基本的に町で検討することとなります。

2番目の件については、基本的に総数が減ると給食提供数も減ります。人

数が多ければ多いほど多くの量を仕入れ、単価的に安くなりますので、減る人数にもよりますが、そういった影響は少なからずあると思います。

3番目の件については、吉田委員がおっしゃる通りです。

(委員長) ほかにご意見、ご質問はありませんか。

先ほど、事務局から給食費の収支状況について説明がありましたが、給食費の収支のバランスが大きく崩れ、食材料費も高騰している中、給食費の改定について検討する時期に来ているとの説明もありました。このことについて、皆様からご意見をいただいておりますが、検討をする時期であるということについて、皆様、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員) 物価高の中で町はよくやっていると感心しましたし、この表を見る限り、大変に苦勞されていることが分かりました。幕別町は農家さんが沢山いらっしゃいますので、もう少し野菜を安く手に入るということはできないのでしょうか。例えば、こちらは売れますが、これは売れない、捨てるというのは、凄く勿体ないと思います。形は違っても中身は同じなので、そういう物を町に安く提供してくれる農家さんはいないのかなと思います。

(所長) 先ほど、野菜の見積合わせの話をしましたが、物によっては直接、農家さんの方から買わせていただいている部分もありますので、バランスも考えながら検討を進めていきたいと考えています。

(委員) 私は給食センターに野菜を納品していますが、規格外、小さいものの処理に手間が掛かるので、給食センター用に一番良いものを納品しています。規格外を安くというのは、価格を下げる有効な手段ではありますが、調理、オペレーションの問題で使えないという現状がありますので、そこは改善する手法がないのか検討していただきたいと思います。

(所長) 委員おっしゃる通り、調理工程で小さい野菜は加工、下処理に時間が掛かります。調理は基本的に2時間と決まっているため、なかなか小さいものは使えないという実態があります。

(委員) その日の給食メニューによって、子どもたちが食べる、食べないということがあって、大好きなメニューは食缶が空になるくらい食べますが、嫌いなものは申し訳ないくらいに凄く残ってしまいます。今の子どもたちは咀嚼の関係なのか、麺類が大好きなので、食材も高くなっていると思いますが、もう少し量を増やしていくようにするとか、残食を少なくすることも考えてもらいたいと思います。自分は給食費を上げることは凄く賛成です。

あと、給食費が上がると、この未納の金額も増えていくと思いますので、未納の分はどういうふうにしていくのかなと思います。これだけ未納分があったら、少し食材の方に回せるとと思いますので、口座引き落としを増やすなどの対応は出来ないのかと思いました。

(所長) 先ほども話がありました残食の関係ですが、やはり、メニューによって、特に和食の残食量が多いというデータは出ていますが、栄養教諭もメニューに偏ることなく、バランスよく、和食、洋食、中華も食べてもらえるよう献立を検討しています。一方、残食が出ないような形だけで進めると、献立が

偏るようなことがあり、もちろん残食が出ないことが一番良いかと思いますので、その辺も含めて献立作成の研究を進めていきたいと考えます。

また、未納額が入れば、もちろん改善される部分が出てくるのかなと思います。今も口座引き落としを推奨していて、毎回、督促状を出すほか、電話督促では口座引き落とし、電子マネーで払えることを促していますが、先ほど説明した通りの実態でありますので、何とか徴収業務でカバーしていこうと考えています。

(委員) 最近、スーパーで買い物すると、食品、物価が上昇していること身をもって感じていて、給食費が上がるのかもしれないなと思います。子どもたちは給食を凄く楽しみにしていて、味付けもとても美味しくて、私の料理が叶わないぐらいで、給食と同じ料理を作っても、給食の方が美味しいと言われることもあり、給食には本当に感謝しかありません。高校生の弁当を作ることになり、朝、面倒くさいし、300円以下で作れない気がしています。でも栄養とかを考えて作ってしてくれるので、私は400円でも500円でも払いたいくらいですが、色んな家庭があって、色んな事情があると思うので、出来るだけ安く、美味しく食べられたら良いかなと思います。

(委員) 特に今の子どもは食べ方にムラ、好き嫌いがあると思いますが、給食じゃないと出会わないメニューがあって、家では食べないもの、初めて食べるものなどを喜んで食べる子どももいます。今、学校では、全部無理やりに食べなさいって言わないで、食べられる分だけを皿によそって、一口チャレンジしようということで、味に触れる良い機会だと思います。

音更町の学校に2回、勤務していましたが、自校給食で、小さい学校は給食費が少し高かったと思います。忠類の場合はどうでしょうか。

(所長) 忠類給食センターでは、毎日170食を提供しており、牛乳の単価は同じであります。食材については、量の問題で若干、割高になっている部分があります。

(委員長) 幕別よりも忠類の方が、厳しいやりくりをしながら、今の状態を保っていただいているということですね。私たちは、普通に学校で給食を食べていましたが、実はそういうことだったという話をされていて、今日はすごく良い話を沢山、聞けたなと思っています。

今、皆様からいただいた意見では、この状況を踏まえた中で、やはり値段の改定についての話を進めなくてはいけない状況にきているのかなという事で、全会一致できるのかなというふうに、私の感想として受け取りましたが、よろしいでしょうか。

<よろしいとの声あり>

(委員長) それでは事務局から何かありますか。

(所長) 本日は、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。今回、いただきました意見を参考に、教育委員会において「今後の給食費の在り方について」協議し、運営委員会への諮問が必要と判断した場合、幕別町学校給食センター条例第4条第2項の規定により、運営委員会委員の皆様は次回

以降の会議で審議をお願いしたいと思います。

なお、会議日程については、来月 10 月 20 日以降に開催させていただき、その場合の開催日、時間等の詳細は、別途文書にてご連絡させていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

(委員長) ただいま、事務局から説明がありましたが、今後の運営委員会につきましては、幕別町学校給食センター条例第 4 条に規定する教育委員会の諮問に応じ開催することとなります。

教育委員会から諮問があった場合には、来月の 20 日以降の開催日程で、文書にて案内が委員皆様に届くこととなりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の会議を閉じさせていただきます。本日は、ご苦勞様でした。